

# 四国企業 プロフィール

業務用食品卸のRCフードサービス(徳島市)は、売上高を5年で60億円に倍増させるための体制づくりを急ぐ。2025年2月に本社兼物流拠点を徳島県北島町へ移転拡張するほか、このほど5000万円を投じて顧客病院との間で専用の受発注システムを構築した。県産食材を使った同社初のPB(プライベートブランド)商品も投入した。

徳島市の臨海部、東沖洲にある本社兼物流センターを吉野川を挟んだ北島町へ移設する。7900平方メートルの土地を購入し、鉄筋コンクリート一部2階建て(延べ床面積3300平方メートル)の施設を建設中だ。25年1月末の完成を見込む。規模は現在の2倍になる。

「今の本社拠点は賃借で、これ以上の拡張は難しい。南海トラフ地震による津波のリスクも踏ま

## 売上高倍増 60億円にらむ

え、交通網がより整った内陸部の北島町への移転を決めた」と島野和社長は話す。配送トラックも数年内に40台へ倍増させる計画だ。

9月には売上高の6割を占める病院向け食材の受発注システムも稼働させた。5000万円を投じて顧客病院との取引を電子化し、業務部の仕事を4割減らした。「百増す。単位での発注など、病院とのやり取りは細かな作業が多い。煩雑な伝票入力を減らし、営業効率を高める」(島野社長)の狙いだ。

県産食材を使ったPB商品「CHERRY UP! TOKUSHIMA(チアアップ!とくしま)」も売り出した。第一弾は徳島県鳴門市のうずしお食品が加工する冷凍ワカメで、1袋500円入り(税別690円)で出荷する。ぬるま湯などで解凍すれば、ゆでたてのシヤキシヤキの食感が味わえる。病院や飲食店などを対象に、初年度3500袋の販売を目指す

## 本社移転拡張やPB投入



RCフードが徳島県北島町へ移転拡張する新本社兼物流センターの完成予想図



RCフードの島野社長

### RCフードサービス(徳島市)

のなると金時やレンコン、春ニンジン、ハモなどの商品化を想定する。

RCフードはPB商品で得た粗利益の2%を地元漁師や農家への寄付に充てる。今回はうずしお食品経由で、ワカメ生産者の設備購入や後継者育成に役立ててもらった。PBは年1回のペースで追加する。徳島県特産

納入先の店舗にはチアアップの専用シールを張り出してもらい、地域貢献をアピールする。

RCフードは03年の設立で、06年に食品卸大手の菱食(現三菱食品)の子会社になった。だが業績は低迷し、16年に同業のマルハ物産(兵庫県洲本市)を率いる島野社長が実質無償で経営権を譲り受けた。淡路島が本社のマルハ物産はホテルなど観光業向けの取引が中心で「景気に左右されない病院食が主力のRCフードは魅力だった」(島野社長)という。

3年後には高松市の物流センターを香川県宇多津町に移転拡張する計画もある。5000平方メートルの敷地を確保し、主に香川県西部と愛媛県の物流を担う。新たな本社の物流センターは香川県東部と徳島県、マルハ物産は淡路島から関西方面をカバーする。5年後に売上高を60億円に倍増、グループ全体で100億円とする目標を掲げる。

会社概要	
所在地	徳島市
設立	2003年
売上高	32億円(24年3月期)
従業員数	42人
事業内容	業務用食品卸